

GCI Global View

2010年7月5日

【目次】

● リスクチャレンジ	P.1
● Global Markets	
1.オーバービュー	P.3

【連絡先】

株式会社 GCI アセット・マネジメント

○住所：〒101 - 0065 東京都千代田区西神田 3 - 8 - 1

○電話番号： 03 - 3556 - 5540(代表)

○電子メール： administration@gci.jp

金融商品取引業者

関東財務局長(金商) 第 436 号

日本証券投資顧問業協会 加入

当資料は、株式会社 GCI アセット・マネジメントが情報提供を目的として作成したもので、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。当資料は、当社が信頼できると判断した情報データに基づき作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。当資料における見解は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

巻頭レポート

リスクチャレンジ

南アフリカでの「ベスト4」をかかげた日本サッカーの挑戦は終わりました。本番直前にこれまでのプレッシングと人とボールが連動させるパスサッカーのスタイルを捨て、守りを固めてカウンター狙いの布陣と戦術へと大きく切り替えました。

イビチャオシム前日本代表監督は、代表監督を退いたあとも、「リスクを負わない者に勝利はない」「リスクチャレンジのないところに未来はない」として、外部の立場ながらも日本代表を鼓舞し続けてくれました。オランダ戦後のテレビでのコメントでも、「わたしは、ドクターからテレビであってもサッカーを見ないようにとストップされている。つまりわたしは今、リスクを冒して（日本戦を見て）いるんです。リスクを冒さないと収穫はない」として日本代表にエールを送っていました。戦術的には守りを重視した布陣への切り替えとなりましたが、あくまでも勝利を目指すために、岡田監督は「戦術変更」というリスクを取り、また選手とスタッフはチーム一丸となって、勝利のためにリスクチャレンジし、ベスト16という結果を手に入れました。オシム氏の眼には物足りないと映るところが多々あったでしょうが、この大会でチームとしてリスクチャレンジした姿勢を示して結果を出したことをオシム氏も評価していることと思います。

日本がPK戦でベスト8進出の道を絶たれたその翌日、アジアジェネシスアセットマネジメントの創業者 **Chua Soon Hock** さんに都内の大学で学生向けのオルタナティブ投資の講義の一環で特別講師をつとめていただきました。**Chua** さんはこれまでジャパンマクロファンドの運用責任者として長きにわたり優れた運用成果を築いてこられました。昨年健康上の理由から第一線を退かれ、現在は若手運用者の育成に精力的に取り組まれています。人材育成の観点からGCIが週1回のペースで取り組んでいる学生向けのオルタナティブ投資に関する講義への取り組みにご賛同いただき、シンガポールからこの講義のためだけに訪日し、手弁当で今回の特別講師をお引き受け下さる運びとなりました。

講義で **Chua** さんは、ご自身でのこれまでの経験をふまえて、運用者が何を考え、何を狙い、何を狙っているのかを具体的な投資事例を交えながら1時間半にわたって熱弁をふるってくださいました。また、**Chua** さんは、自分が何故このようにして、わざわざシンガポールから遠路はるばる日本にかけつけて、見ず知らずの学生たちに話をするのかを、「経験を積み、成果をあげてきた運用者として、今度はその経験を社会に対して、特に若い人たちに還元していくのが今の自分の使命である」と、日本をこよなく愛する氏はその人生哲学を学生に語ってくださいました。

講義の途中で **Chua** さんが、講義に参加した60名程の学生に向かい、自己資金で何らかの投資やトレーディングの経験があるかと質問したところ、2、3名が手を挙げるに留まりました。シンガポールの学生にも同様の質問をした際には大半の学生が何らかの投資経験を有していたようで、**Chua** さんはその少なさにやや驚かれたようでもありました。

「運用において失敗から学ぶことは多い。ぜひ若い皆さんもチャレンジし、リスクを取り、失敗を経験し、そして多くを学んでください。」

そのように締めくくりながら、最後に学生に質問を促し、学生は積極的に手を挙げて Chua さんに多くの質問を投げかけました。時間の都合で最後の質問となった学生にも丁寧に答えた Chua さんは思いのほか積極的な学生の姿勢に満足げでありました。「最近の学生は英語も達者になったもんだ」と我々も感心していたところ、後から聞いたところでは、残念ながら質問した学生のほとんどはアジアからの留学生であったというおちがありました。

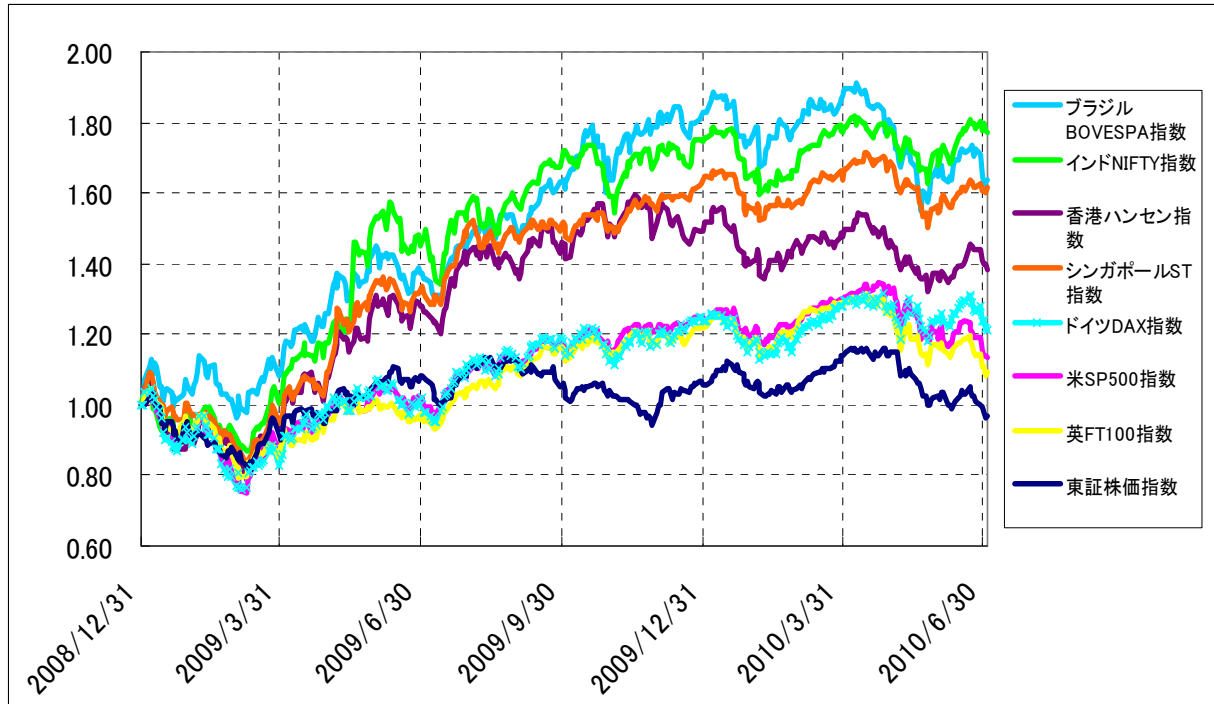
Chua さんのお話を、日本の学生たちがどのように受けとめたのかはわかりませんが、その内容は学生のみならず運用に携わる者の胸に響く言葉だったと思います。日本代表の活躍、そして Chua さんの講義の後、多くの若い人たちがリスクテイクにチャレンジし、失敗を経験して学ぶことに自ら取り組んでくれることを願います。(末永)

Global Markets (6月28日～7月2日)

1. オーバービュー

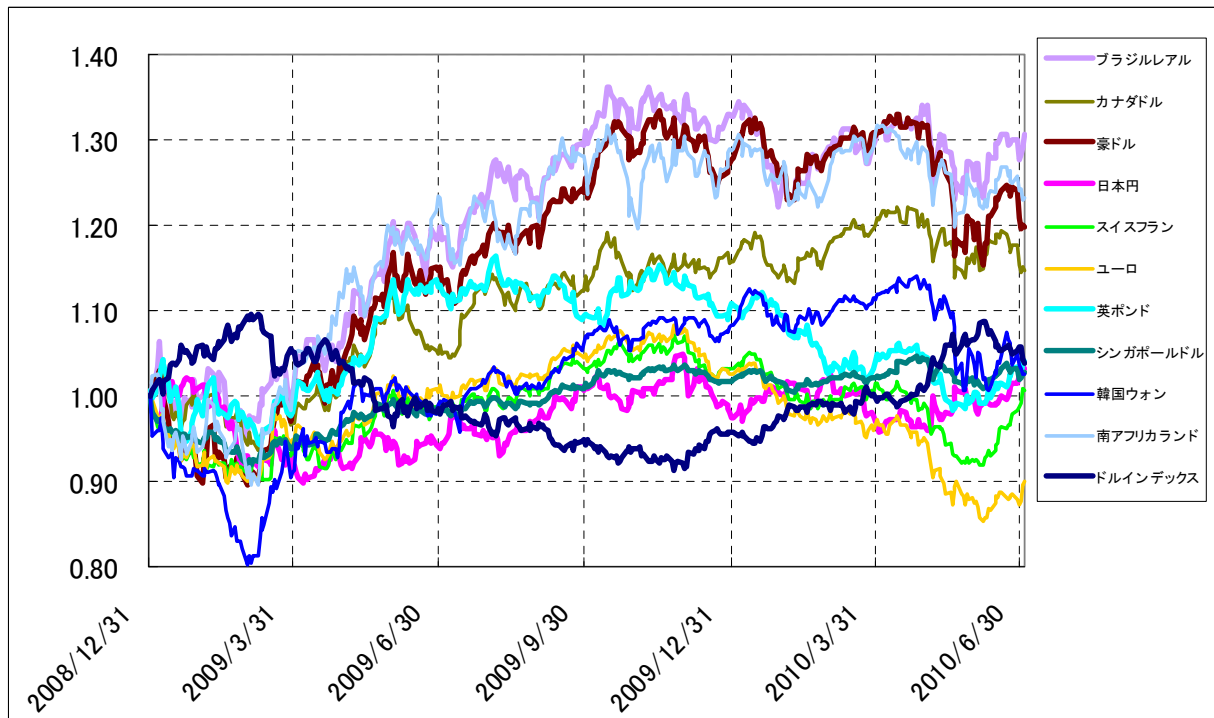
米国の景気二番底懸念に中国の腰折れ懸念が加わり、株式市場は調整ムードが継続、短観では景況感の改善傾向が示されたものの、円高も加わり日本株も大幅調整を余儀なくされた。

【各国株価インデックスの2008年末からの変化率の推移】

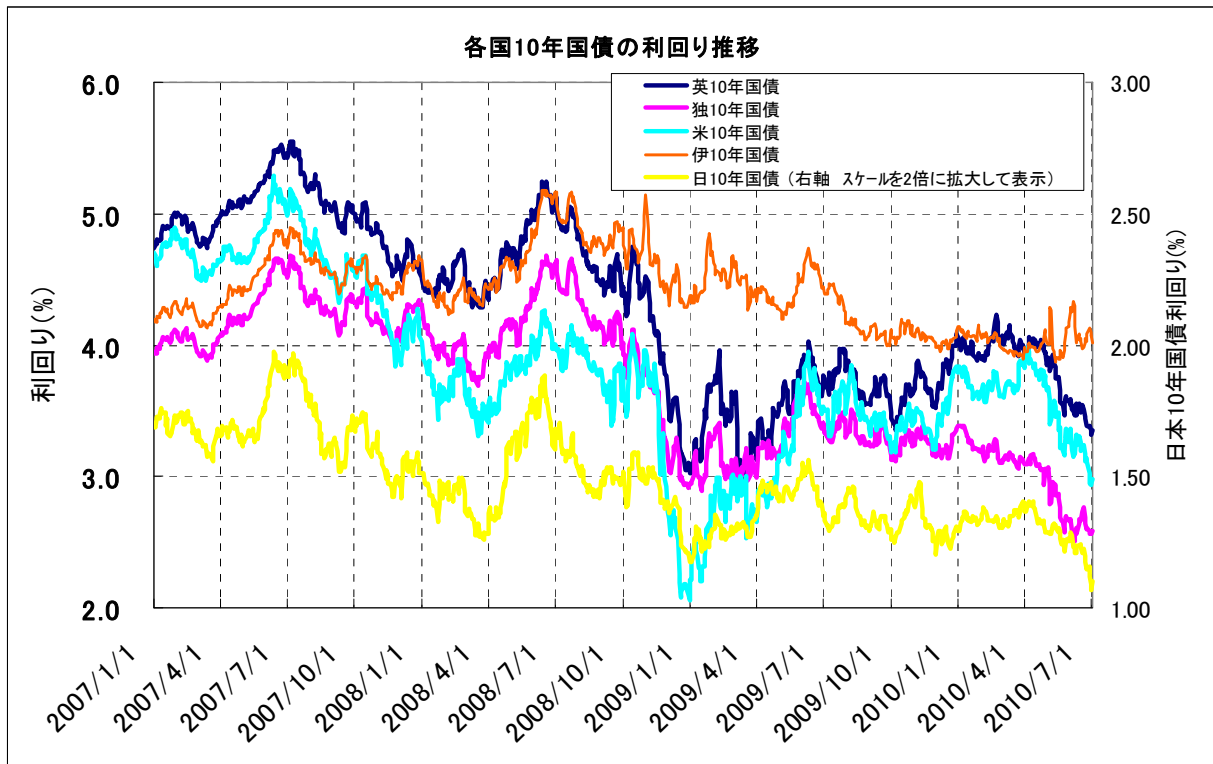


ユーロの下落が一服する中、新興国や資源国の下げと円やスイスフランへの資金流入が継続。

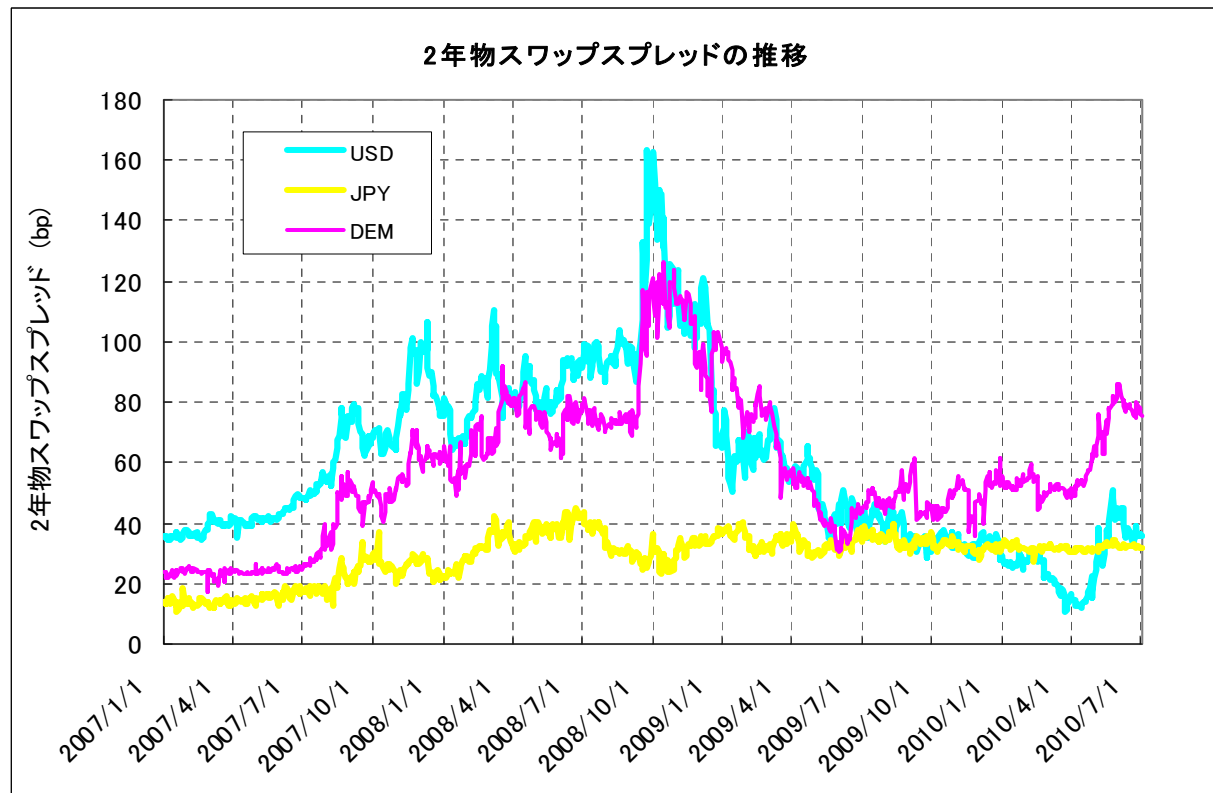
【各国通貨の2008年末からの対ドルでの変化率の推移】



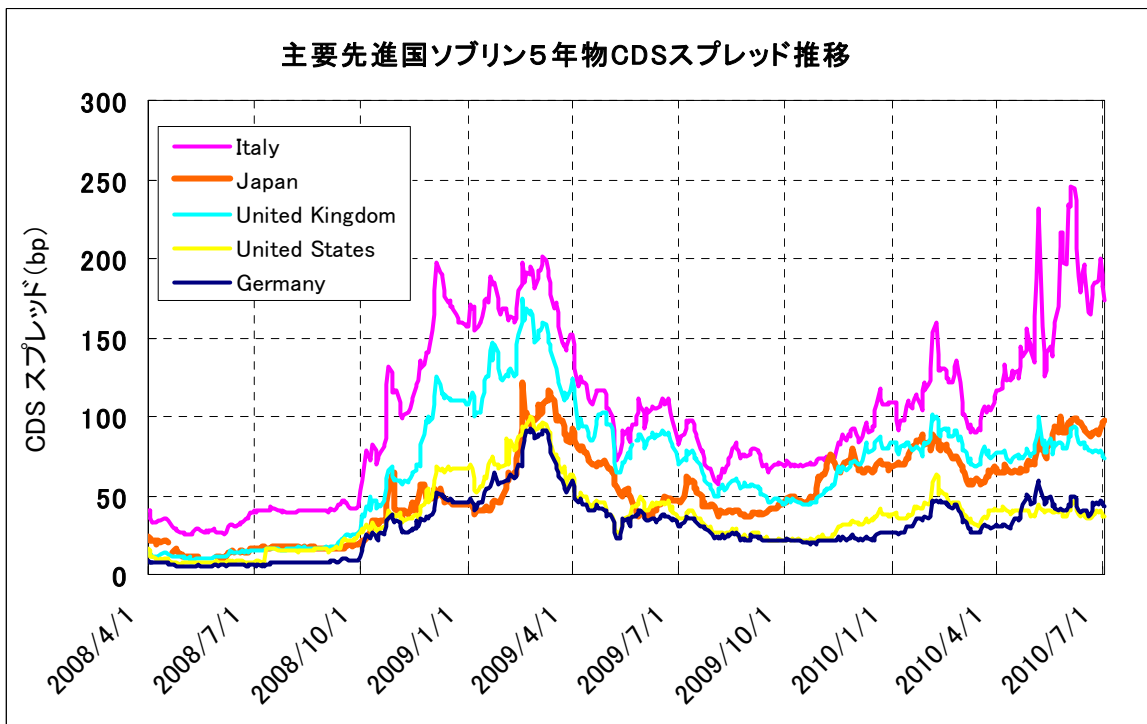
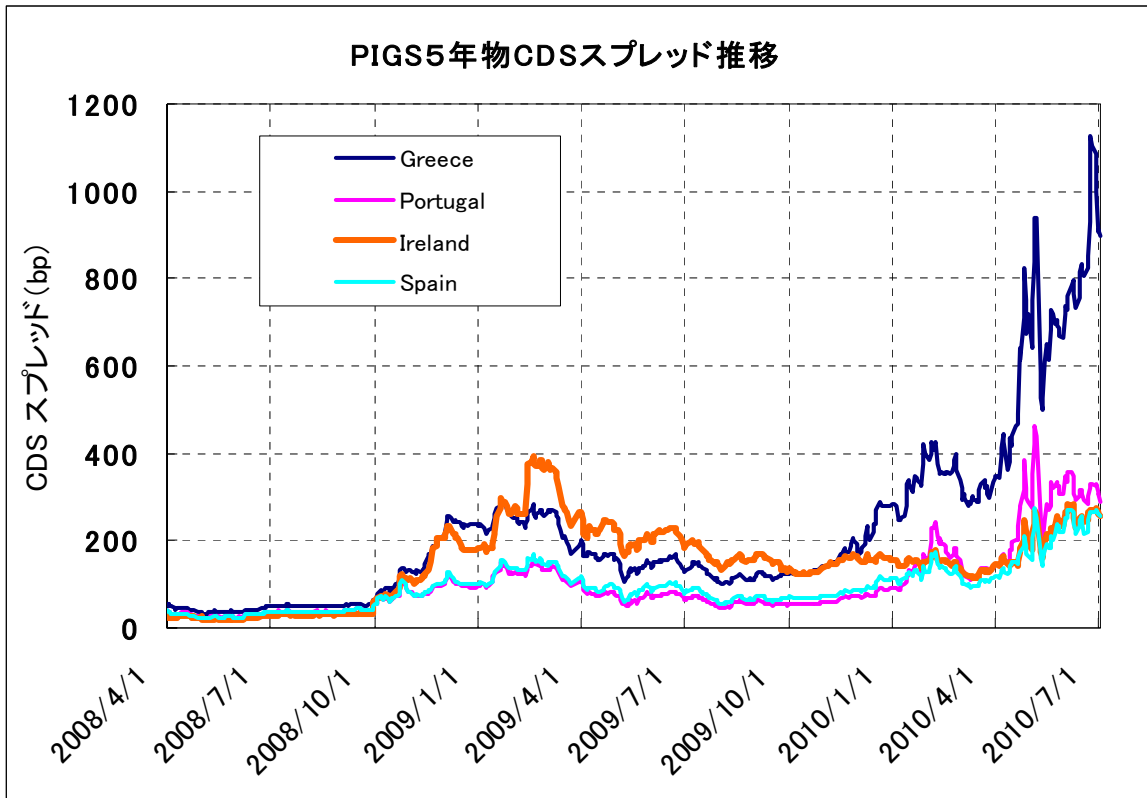
主要先進国の国債への資金流入は止まらず米国10年債は3%を割れ、JGB10年も1%をうかがう展開に。



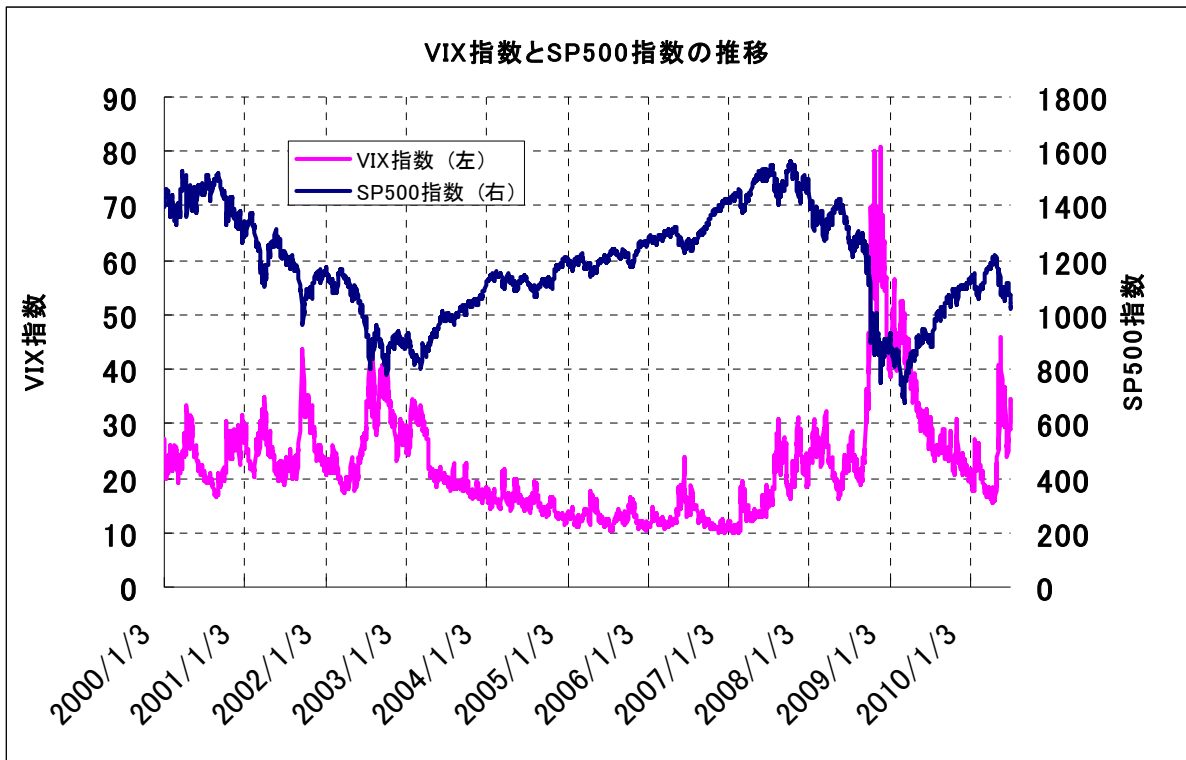
スワップスプレッドはもみあい。



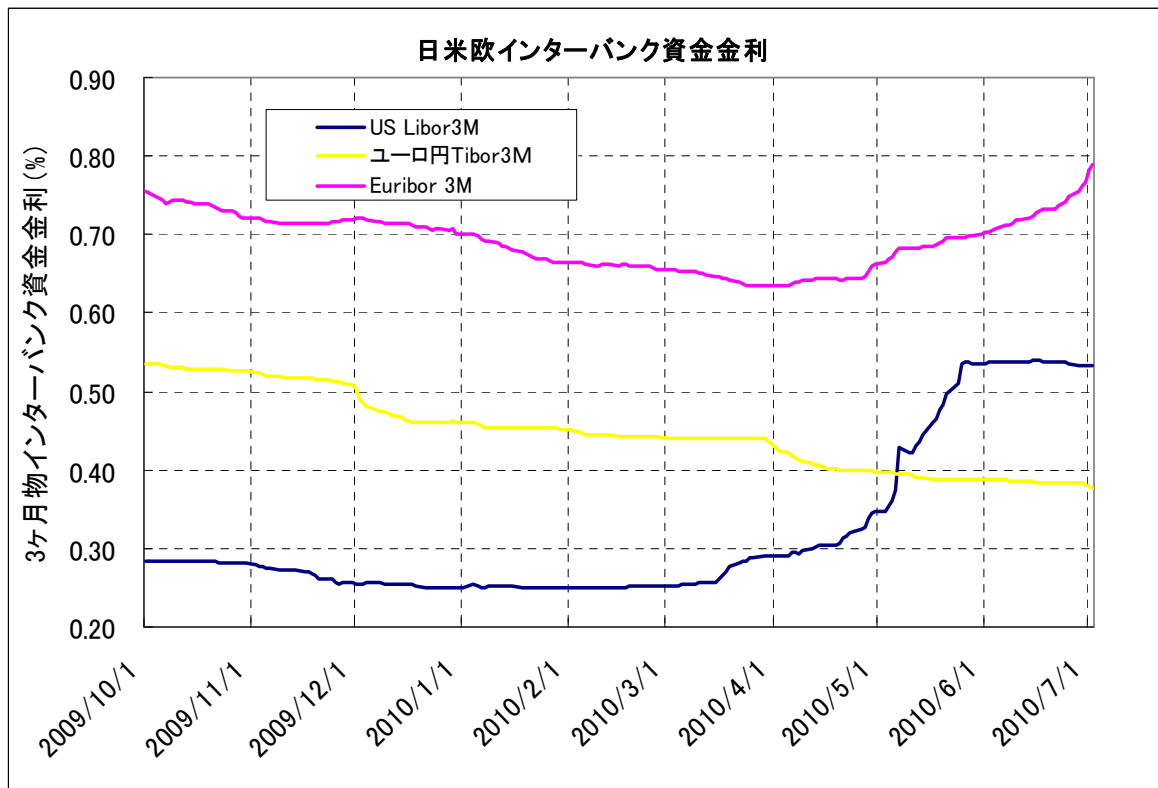
ギリシャの CDS スプレッドはピークからやや戻ったものの、高水準での推移が続く。その他諸国は比較的落ち着いた推移に。



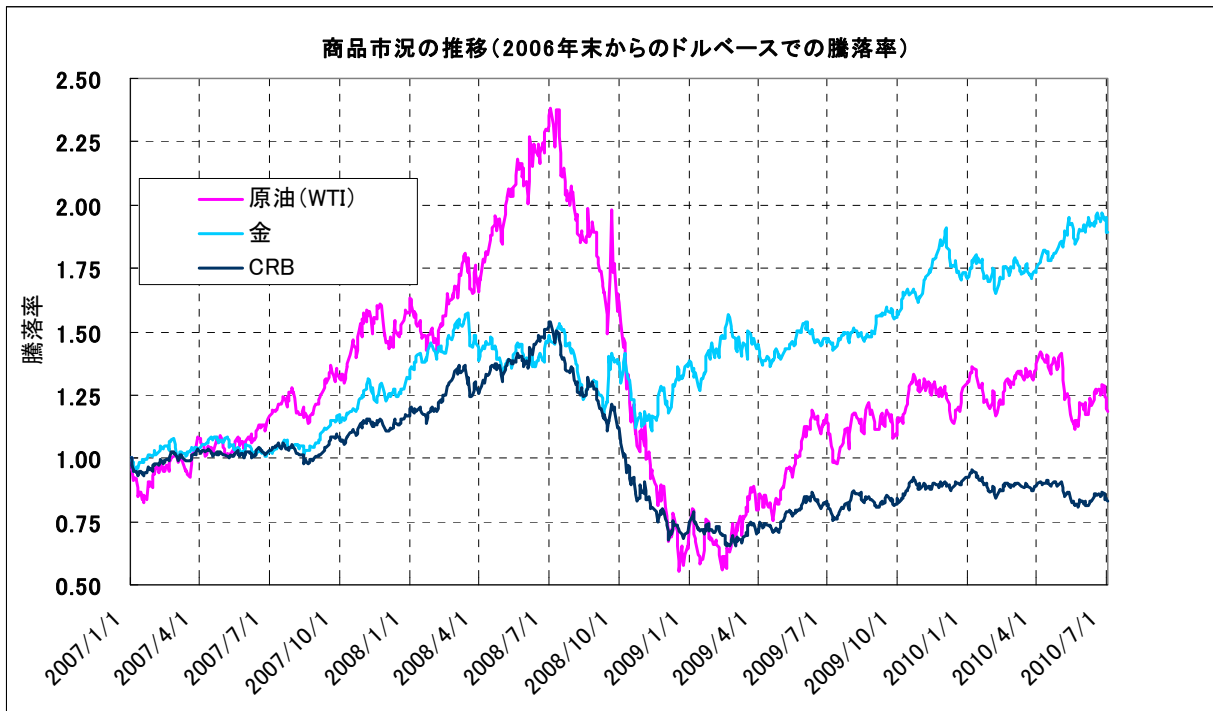
VIX は再び 30 台に。



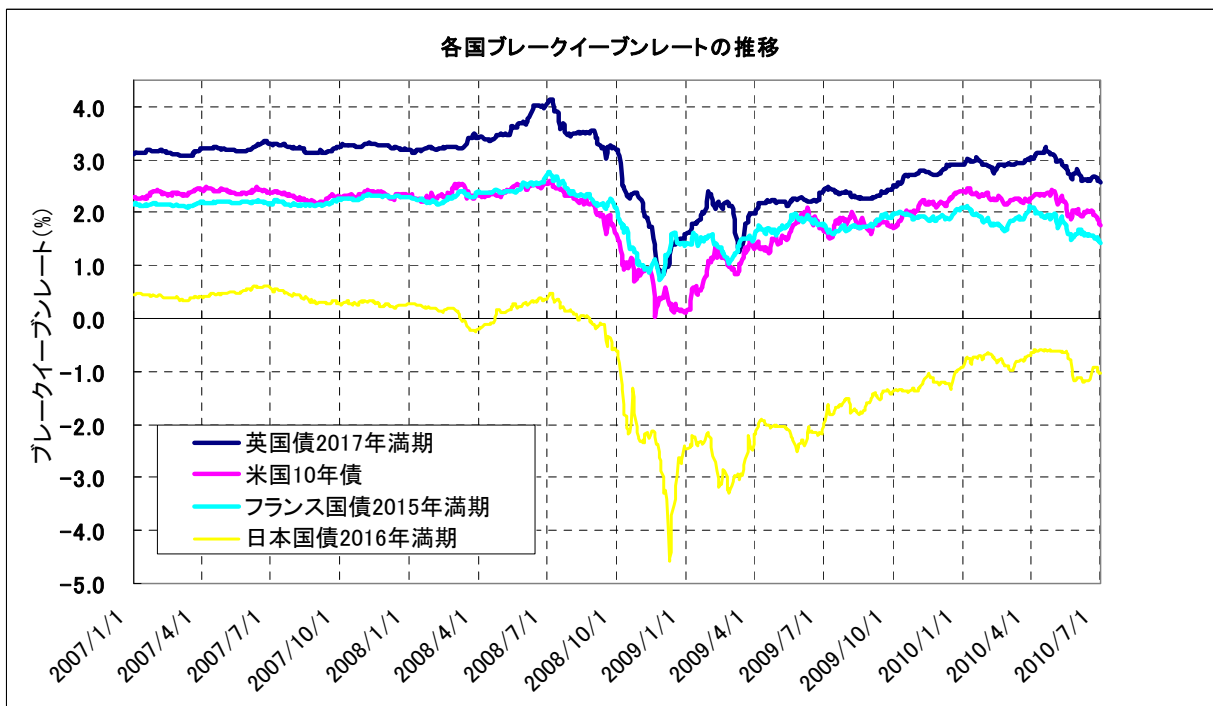
ドル LIBOR の横ばい、ユーロ圏金利の微増傾向が続く。



原油のリバウンド傾向、ゴールドへの資金流入が続く。



ブレイクイーブンレートを縮小方向の動き。



(末永)